

■会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社  
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)  
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2  
代表番号 03-6735-0785  
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>  
設立 2010(平成22)年2月1日  
資本金 30億円  
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

■グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社  
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター  
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町29
- 丸善出版株式会社  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス  
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル11階

■役員

代表取締役社長	中川 清貴	取締役 監査等委員(社外)	栗林 忠道
専務取締役	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
取締役	石井 昭	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	工藤 恭孝	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	杉本 尚彦		
取締役	橋本 博文		
取締役	五味 英隆		

株主優待として、  
商品券を  
同封しております\*



毎年7月31日現在の保有株式数に応じて、全国の丸善、ジュンク堂書店の店舗\*でご利用いただける商品券を、年1回、9月下旬にお送りしております。

\* 100株(1単元)以上保有されている株主様が対象です。

よくあるご質問

Q おつりは出ますか?

申し訳ございませんが、おつりはお出ししておりません。額面以上でのご利用をお願いいたします。

Q 有効期限はありますか?

有効期限はございます。ご送付の翌年11月末日まで有効です。

- ★詳細はこちらをご覧ください。
- 商品券に同封の「ご利用店舗一覧」
- 当社ホームページ

..... 株主優待のページはこちら .....  
<http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/yutai.html>



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

知

BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第8期(第2四半期累計) 2017.2.1 - 2017.7.31



文教市場販売事業 37.0%

売上高 34,210百万円(前年同期比 98.3%)  
営業利益 2,106百万円(前年同期比 100.4%)

● 公共図書館向け書籍販売は堅調に推移しましたが、大学向け書籍販売及び教育・研究施設、図書館などの設計・施工案件の完工が減少した結果、売上高は342億10百万円(前年同期比1.7%減)と減収となりました。しかし、原価改善に努めた結果、営業利益は21億6百万円(前年同期比0.4%増)と前年並みを確保しました。

その他事業 6.6%

売上高 6,137百万円(前年同期比 82.4%)  
営業利益 242百万円(前年同期比 63.7%)

● 前年後半からの店舗内装業の主要顧客の投資意欲減退が当期も継続している影響で、売上高は61億37百万円(前年同期比17.6%減)と減収となり、営業利益は2億42百万円(前年同期比36.3%減)と減益となりました。

売上高構成比



出版事業 2.3%

売上高 2,081百万円(前年同期比 93.6%)  
営業利益 134百万円(前年同期比 181.1%)

● 専門分野として『ネコの行動学』『JAMT技術教本シリーズ 病理検査技術教本』『高齢者のための感染症診療』『第3版 有限要素法による流れのシミュレーション』『航空宇宙工学テキストシリーズ 粘性流体力学』『社会学理論応用事典』、児童書として『なんでも魔女商会シリーズ25』『ねえ、してる?』『ピクリ3D図鑑 対戦恐竜バトル』『世界恐竜発見地図』など、合計新刊120点(前年134点)を刊行いたしました。新刊刊行数の減少等の影響により、売上高は20億81百万円(前年同期比6.4%減)と減収となりましたが、原価低減により営業利益は1億34百万円(前年同期比81.1%増)と増益となりました。

店舗・ネット販売事業 40.8%

売上高 37,717百万円(前年同期比 103.4%)  
営業利益 60百万円(前年同期比 -)

● 依然厳しい市場環境が続く中、数年来取り組んできたスクラップアンドビルドの成果及び店舗の複合化、多角化等集客力の向上に注力したこと、さらにフランチャイズ店等への卸売高が増加したことで、売上高は377億17百万円(前年同期比3.4%増)と増収となりました。また販管費の削減に努めた結果、営業利益は60百万円(前年同期1億93百万円の営業損失)と増益となりました。

図書館サポート事業 13.3%

売上高 12,261百万円(前年同期比 109.2%)  
営業利益 672百万円(前年同期比 65.4%)

● 図書館受託館数は、期初1,206館から76館増加し、平成29年7月末時点では1,282館(公共図書館523館、大学図書館185館、学校図書館他574館)となり順調に推移しております。その結果、当事業の売上高は122億61百万円(前年同期比9.2%増)と増収となりましたが、新規受託館の準備費用の発生及び人件費の上昇等により原価及び販管費が増加したため、営業利益は6億72百万円(前年同期比34.6%減)と減益となりました。



丸善CHIホールディングス株式会社  
代表取締役社長 中川 清貴

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社グループの平成30年1月期第2四半期累計業績は、店舗・ネット販売事業は、新規出店や改装効果、またフランチャイズ型店舗への商品供給とともに、店舗運営コストの削減などに注力した結果、増収黒字化となったものの、図書館サポート事業で、受託業務を高品質かつ安定的に運営する人材確保のための処遇向上など、人材関連コストが上昇し減益となったことなどから、売上高924億9百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益18億7百万円(同11.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億21百万円(同14.4%減)となり、前年同期から売上は微増も、遺憾ながら減益の業績となりました。

弊社グループの当期の主要戦略といたしましては、「書店収益力の改善」「学びと地域活性化による市場開拓」「書籍を活用した生活・文化への貢献」を中心に進めております。

その一例として、店舗・ネット販売事業につきましては、書籍流通センターの活用による返品率の削減を進めるとともに、書店業務を科学的に分析することで、一層の効率化を進める取り組みに着手しております。また、本年8月10日にはグループ最大級の文具売場にカフェ・書籍を融合した「丸善 池袋店」を開店し、新しい業態開発と文具事業拡大を進めております。

文教市場販売事業、図書館サポート事業では、近畿大学の新しいキャンパス整備計画において、教室・ホールなどのほか、「実学」や「文理融合」など同大学の教育方針に基づいた分類と、特徴ある展示や空間デザインによるこれまでにない新図書館を、プロデュースから選書・書籍納品、内装・什器、運営受託まで受注し、同大学の目指す学習環境の創造に微力ながら貢献させていただきました。

これらの詳細につきましては、別掲の「TOPICS」をご覧くださいますが、今後も主要戦略に基づいた、スクラップアンドビルドや文具事業の強化による書店収益の拡大、大学の教育・経営課題解決のためのソリューション提案、公共図書館を核とした地域社会への貢献などの施策により、付加価値の高い事業モデルの構築に取り組んでまいりますので、株主の皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# Topics トピックス

## 大和市文化創造拠点「シリウス」開館から9カ月で来館者数200万人を突破しました

2016年11月3日にオープンした大和市文化創造拠点「シリウス」は、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場など、複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設です。6社の企業で構成された共同事業体で運営し、図書館部分を(株)図書館流通センター（以下TRC）が担当しています。シリウスでは開館から約5ヶ月で来館者数が累計100万人を突破し、開館9カ月弱で、来館者数200万人を達成しました。開館時に設定した1年間の目標来館者数150万人を大きく上回っています。

TRCが指定管理者として運営する図書館では他にも、本年1月に移転リニューアルオープンしたあかし市民図書館で開館1カ月の来館者が10万人を突破、昨年7月オープンにつがる市立図書館では開館7カ月で年間目標20万人を達成、本年4月に移転リニューアルオープンした岡山県玉野市立図書館では開館2カ月で10万人突破など、開館まもない図書館がいずれも想定より早いペースで来館者目標を達成し続けています。

TRCでは、今後も利用者にとって魅力ある図書館を考えるとともに、ソフト面の充実にも磨きをかけ、これまで以上に多くの方にご来館いただける施設づくりを目指してまいります。



シリウス来館者 200万人突破



シリウス内観

## 丸善 池袋店オープン

ジュンク堂書店 池袋本店より程近くの藤久ビル東5号館に、都内最大級の文具専門店として「丸善 池袋店」が2017年8月10日にオープンいたしました。

地下1階は、一般文具を中心に和文具やコミック関連の画材商品など約3万8千アイテム、2階は、万年筆をはじめとした高級筆記具や革小物など約2万6千アイテムの他、丸善オリジナル商品も多彩に取り揃えております。



2階内観



ビル正面の電車が目印

また、(株)丸善ジュンク堂書店がはじめてゼロからプロデュースする、ブック&ステーションリーカフェ「ほんのひととき」も併設いたしております。1階カフェスペースでは、こだわりのコーヒーや丸善伝統のハヤシライスのご提供、2階ブックサロンでは、(株)丸善ジュンク堂書店の特性を活かした書籍や文具に関するイベントも行っていく予定です。

近隣のジュンク堂書店 池袋本店とともに、より多くのお客様のご期待に応えられる店舗を目指してまいります。

## 丸善雄松堂が超近大プロジェクトに参画!! “知の劇場”『ACADEMIC THEATER』がオープン

丸善雄松堂(株)は永年にわたり、日本の未来を担う学生が多様な気づきを得られるような学習環境デザインの実現に取り組んでまいりました。この度、近畿大学様の「近大は近大を超える!超近大プロジェクト」に参画し、今年4月6日にオープンした東大阪キャンパス「ACADEMIC THEATER」において、書籍の手配・配架、家具・什器・備品の整備、一部内装工事の他、オープン後の図書館運営業務を受託いたしました。

「ACADEMIC THEATER」は、「文理の垣根を越えて社会の諸問題を解決に導くための学術拠点」をコンセプトとし、知的好奇心をかき立て、新たな学びに取り組む図書館「BIBLIOTHEATER」や、社会や世界とつながる窓口、情報発信型のホール、いつでも学べる自習室、交流の場となるカフェスペースが5つの建物に集約されています。学生が、教職員のみならず、卒業生・企業人・地域住民など多様な人々と出会い、自由に語り、学び、情報を発信できる新しい集いの場を目指しています。

「BIBLIOTHEATER」は、弊社グループ会社の編集工学研究所所長 松岡正剛氏監修のもと、独自の図書分類「近大INDEX」によって、約7万冊の書籍等を収蔵しています。1階の「NOAH33(ノア33)」には一般図書を中心に約3万冊を、2階の「DONDEN(ドンデン)」には、マンガ約2万2千冊を含め、新書・文庫など約4万冊を配架し、学生にとって図書館がより身近になる図書分類や空間環境、さらには本の展示やPOPまで、学生の学習意欲を喚起する仕掛けがデザインされています。

これからも大学を取り巻くステークホルダーの満足度を高める学習環境デザインを追求するとともに、グループのプレゼンス向上に努めてまいります。



ACADEMIC THEATER外観



ビブリオンアター1階 NOAH33(ノア33)



ビブリオンアター2階 DONDEN(ドンデン)

## 丸善出版 教育機関向け動画配信サービスをスタート



コンテンツイメージ画像

丸善出版(株)では、2017年4月より、大学や看護学校、病院などの機関を対象に医学・看護系DVDコンテンツの動画配信サービス「Educational Video Online」を開始しました。

タブレット端末の導入など教育機関のICT化が進む中、WEB上で視聴可能にすることにより、医学生や看護学生、研修医や看護師の方々の教育・学修に新たな環境をご提供できることとなりました。

コンテンツは、「最新基礎看護技術シリーズ」や「研修医のための診察手順」など11シリーズ、今年度中に2シリーズ追加して合計13シリーズのラインナップになる予定です。1シリーズ毎の年間利用になっていますので、各機関で必要なシリーズのみをご契約いただける仕組みです。ご契約前に無料トライアル視聴を実施しており、DVDパッケージと異なり図書館貸出が不要なことや何人もが同時に同じ動画の視聴が可能なことなど、たいへん好評をいただいています。今後もよりよいコンテンツを投入し、教育・学修の支援に努めてまいります。

■ 財政状態 (単位: 百万円)

	当第2四半期末 (2017年7月31日現在)	前期末 (2017年1月31日現在)
総資産	124,821	131,993
● 流動資産	90,899	98,932
● 固定資産	33,820	32,940
(有形固定資産)	20,350	19,552
(無形固定資産)	1,316	1,274
(投資その他の資産)	12,154	12,113
● 繰延資産	101	120
負債	88,031	96,536
● 流動負債	61,593	67,465
● 固定負債	26,438	29,070
純資産	36,789	35,456
● 株主資本	36,087	34,784
● その他の包括利益累計額	△574	△567
● 非支配株主持分	1,276	1,239

■ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2017年2月1日から 2017年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2016年2月1日から 2016年7月31日まで)
● 売上高	92,409	92,170
● 営業利益	1,807	2,049
● 経常利益	1,775	2,077
● 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,321	1,544

■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2017年2月1日から 2017年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2016年2月1日から 2016年7月31日まで)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,530	9,654
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,611	△406
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,546	△10,309
● 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	—
● 現金及び現金同等物の増減額	369	△1,060
● 現金及び現金同等物の期首残高	21,032	20,201
● 現金及び現金同等物の四半期末残高	21,401	19,140

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



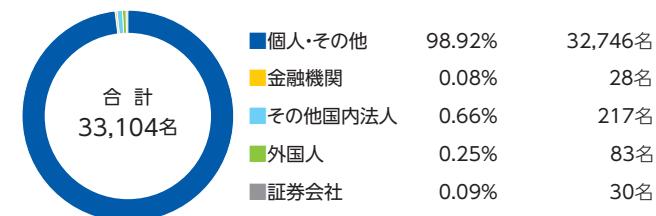
■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	33,104 名

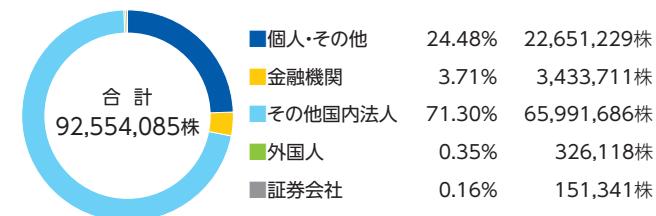
■ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大日本印刷株式会社	49,528,336	53.51
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	3,168,380	3.42
株式会社小学館	2,203,500	2.38
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,991,785	2.15
石井 昭	1,510,426	1.63
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99
日本出版販売株式会社	862,300	0.93

■ 所有者別株主分布状況



■ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己名義株式4,288株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	<a href="http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html">http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html</a>
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒168-0063
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉2-8-4
[郵便物送付先]	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
[電話照会先]	電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 単元未満株式の買取制度とは? ●

市場で売買できない100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

